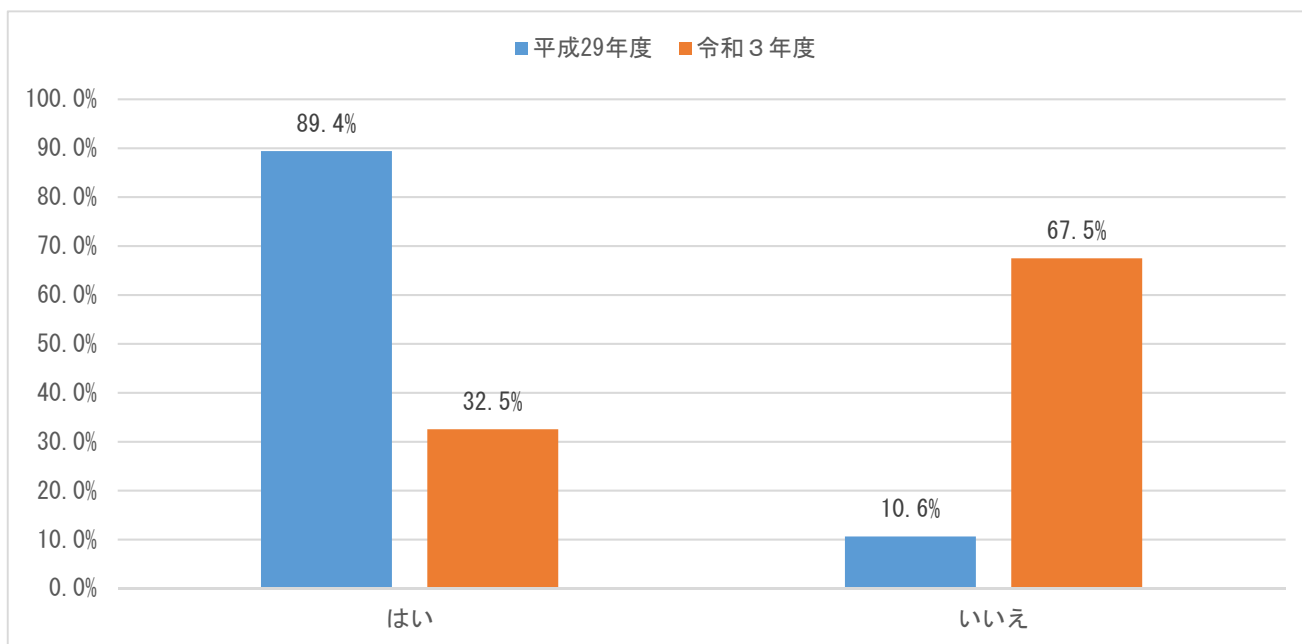


問 6.内閣府の青年国際交流事業では、参加した青年を中心に組織された同窓会組織である日本青年国際交流機構(IYEO)が大きな事後活動組織としてあります。あなたは、IYEO に会員登録(入会)しましたか。

平成29年度	はい	いいえ	合計
国際青年育成交流事業	9(名)	0(名)	9(名)
	100.0%	0.0%	100%
日本・中国青年親善交流事業	4(名)	0(名)	4(名)
	100.0%	0.0%	100%
日本・韓国青年親善交流事業	6(名)	2(名)	8(名)
	75.0%	25.0%	100%
地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」	6(名)	0(名)	6(名)
	100.0%	0.0%	100%
「東南アジア青年の船」事業	22(名)	3(名)	25(名)
	88.0%	12.0%	100%
「世界青年の船」事業	54(名)	7(名)	61(名)
	88.5%	11.5%	100%
合計	101(名)	12(名)	113(名)
	89.4%	10.6%	100%
令和3年度	はい	いいえ	合計
国際社会青年育成事業 (オンライン)	5(名)	13(名)	18(名)
	27.8%	72.2%	100%
日本・中国青年親善交流事業 (オンライン)	4(名)	13(名)	17(名)
	23.5%	76.5%	100%
日本・韓国青年親善交流事業 (オンライン)	1(名)	5(名)	6(名)
	16.7%	83.3%	100%
「東南アジア青年の船」青年会議 (オンライン)	5(名)	12(名)	17(名)
	29.4%	70.6%	100%
「世界青年の船」事業 (オンライン)	12(名)	13(名)	25(名)
	48.0%	52.0%	100%
合計	27(名)	56(名)	83(名)
	32.5%	67.5%	100%



**問 6-1.「はい」を選んだ方は、今後 IYEO がどのような組織であると活動を継続しやすいと思いますか。**

- ・ 対面のイベントが増えるとオンラインよりももっと深くつながれると思います。
- ・ 正直、IYEO の活動内容がよくわからず、引越しをした際新しい地域の IYEO へのコンタクトの取り方もわからないので、そういう人でも参加しやすいイベント等があれば嬉しいです。
- ・ 積極的に活動している方々は、長年 IYEO に携わっている方が多い印象があり、途中から組織に入る時に少し入りずらさを感じることがありました。
- ・ 若い人も興味を持てるような若い世代に向けても積極的な組織。IYEO ビギナーだけに向けた何か活動があればそこで交流した上で先輩方と一緒に段々と参加しやすくなっていくのではないかと思います。
- ・ どんなことをやっているか等写真などを使って中身がよく見えるようにして欲しいです。
- ・ slack などでコミュニケーションが可視化されていると良いと思います。
- ・ 事業横断的に幅広い方を対象としながら、自由度の高い活動を行う組織
- ・ 気軽に情報交換をできるプラットフォームなどがあること。以前 FB のグループでは一方的に情報発信はさせていただいていたが、気軽に会話したりやりとりするような雰囲気ではなかった。オンライン上でメタバースなど使って、テーマや目的を設定しながら集まったり情報交換が気軽に出来るといい。LIVE でもそうでなくても。個人的には同時期に同事業に参加した仲間にはまた会いたいし交流したいと思うがきっかけがない(自分で何か企画しようというほどの意欲と時間はない)。
- ・ どの都道府県の IYEO も慢性的な人員不足にあり、1 度参加すると事務局業務やイベントの運営側など重い活動を任せられるイメージが参加青年にあり、それが青年が IYEO に定着率しない理由になっていると考える。事務局体制やイベント運営はある程度の対価(金銭面でなくても)やサポート体制があると細く長く無理なく活動が継続できると思う。
- ・ まずはいち社会人として企業等で活躍している人たちが、中長期的な日本の企業や社会に対して貢献できるような繋がりやイベントがあるとよい。
- ・ 同期と会える場
- ・ 人生のタイミングによって関わる濃度を増やしたり減らしたり出来る
- ・ Facebook などで活動が見える
- ・ IYEO への入会を任意から必須に戻す。事業の一部として IYEO・事後活動組織はあるのが、よいと思います。なぜなら、事業参加は一生続く財産となるので、任意入会にしておくのはもったいない。かつ、現地在 IYEO が入会者数を増やそうと努力して苦心しているが、その努力をより事後活動に注げるようにしてほしい。
- ・ 国内外の OBOG との定期的な交流会。
- ・ 様々な機会があり、日本や海外青年との繋がりを維持できる場所

- ・ ライブイベント等によって参加が厳しいと思う状況もあるため、負担感が少なく、同世代と繋がりが持てる組織だと活動が継続しやすいと考える。
- ・ ボランティア活動であるという大前提は理解しつつも、ボランティアの力では実現できない部分が多いと感じる。特定の会員が私生活を多大に犠牲にしてようやく成り立っている部分がある一方で、そうした特定の会員の更新代謝が促せるほど活動する会員が少ないことも好ましくないと感じている。内閣府事業参加者全体のうちで IYEO 活動を当初から行う気持ちになかった割合も一定程度いると感じており、人材育成の観点からも選別面でも変更を加えてもよいかもしいと感じる。ライトに活動したい層の増加よりも、各都道府県 IYEO 運営コアメンバーの育成に注力するべきであると感じる。
- ・ 入会した一方、活動内容をほぼ把握していないので、本回答は出来兼ねます。尚、同活動に対して消極的な背景として、内閣府事業へ参加した当時から、将来ビジョンが断続的に変わり、それに併せて、活動への関心を失っていること、が挙げられます。此処から、「既参加青年のモビリティの掌握」と「IYEO の潜在的課題、活動意義の明示・展開」を両軸で実施し、両者ニーズを繋げるストラクチャーが形成出来れば IYEO の活動持続性に繋がるかもしれません。具体的アイデアは分かりません。
- ・ SNS 等でコミュニティメンバーとのコミュニケーションが取りやすくなると良いと思う。
- ・ 活動の全容がわかりやすい、歳の近い参加者がいる、交通費が出る
- ・ 近場の IYEO 会員をマッチングできる仕組みがあると協力して活動することができると思います。
- ・ IYEO は縦(例:歴代のSWY参加者)も横(例:SWY29の同期)のつながりも大変強い組織だと考えております。しかしながら、SWY29参加時、参加青年に地方在住者が少ないと感じましたし、事業終了後、様々なブロック大会や全国大会に行き、多くのIYEO関係者と話をした中で、特定の地方のIYEOは「少子高齢化」が進んでいることがわかりました。⇒解決策:(本部からの予算の増加等で)地方のIYEOによる事業の広報活動をより積極的に行うことにより、地方在住者の事業参加が増えます。その地方出身の参加青年が事業終了後、その地方のIYEOに所属すれば、ひいては地方のIYEOの若返り及び人員増加につながります。
- ・ 初めての人がなかなか参加しにくい(一歩踏み出しにくい)と感じてしまいます。また、休日のイベントが多いので、平日夜のオンラインイベントなどがあると不定休の人でも参加しやすいです
- ・ それぞれ仕事などが忙しく関われない時期もあるかと思うが、そういったブランクがあったときにそのまま離れてしまうのではなく、いつでも戻りやすい雰囲気が必要だと考える。
- ・ コロナ禍で難しいと思いますが、国際的な活動を活発に行う組織であるといい。オンラインでの開催や IT を使ったり工夫が必要。
- ・ IYEO 会員が各自の都合に合わせて無理のない範囲で活動できること
- ・ 様々な分野の社会貢献活動を行っていること(様々な人が IYEO 活動に興味を持ちやすくなるため)
- ・ 定期的に会員同士が繋がれる機会があること
- ・ 皆さん本業をやりつつ活動をしているようですが、どのように時間のやりくりをしているのか不思議です。今はオンラインでの集まりもありますので、その方法でこれからも続けてほしいと思います。
- ・ 閉じたコミュニティとしてではなく、開かれたコミュニティとしての IYEO である必要があると思う。非 IYEO 会員も参加しやすいイベントや機会を設けることを今後もやっていくべきだと思う。
- ・ 大きな活動がフィーチャーされてしまう組織ではあると思うので、草の根で活動できるような組織だと良い。
- ・ 何気なく参加していたらすごい社会貢献活動をしていたと感じられる組織であるといい。現状、報告会や地域での活動だけでは事業参加していた頃に比べると得られる達成感が少なく、緩い団体と感じてしまいモチベーションが低下する。
- ・ 内輪感がない、風通しの良い活動であること
- ・ もっと予算をとった方がいい。補正予算など活用すれば、継続的な同窓会運営くらいはできるようになると思う
- ・ フラット、オープン、簡単  
それぞれのシェアできるスキルなどがわかりやすいと良い。参加事業名だけでなく、いま交流したい人と繋がりやすいと助かります。
- ・ 活動内容が堅すぎず、また幅広い世代が参加しやすい開かれた組織
- ・ 社会人でも活動しやすい時間帯や休日などに活動出来るような取組であれば、時間調整しやすいと思う。ここ数年で交流や受け入れの流れが変わってしまったと思うが、かけがえない体験をさせて頂いたのでサポート出来る内容があれば参加したい。ただ、知り合いもおらずなかなか参加する勇気がなくハードルが高い状況がある。
- ・ ボランティアや事業の募集などがメール以外でも一覧で見えるといいと思います。

- ・ 仕事と関連があれば
- ・ 多様な世代がゆるく交流できるコミュニティ
- ・ 世間的な認知度が向上し、より多様な人たちが所属する組織
- ・ 定期的にイベントの機会があると参加しやすいです。
- ・ いつでも参加できるし、いろんな人と交流できる組織。
- ・ 個人のライフスタイル・プランに合わせて活動できる組織。企業の産休・育休のような長期お休みが誰でもいつでも取れるような組織体制(全国・都道府県)を構築していかないと、ただでさえ少数精鋭で活動している県は、活動が苦しくなって人が離れていったつきり戻ってこなくなり、活動の継続が出来なくなってしまうかと思います。
- ・ 定期的な活動があり、かつ案内の通知があると参加しやすいと感じる。また、定期的に現地で集まる機会があると、他の参加者につながるができ、より参加意識を持てると感じる。
- ・ 何をしているかが明瞭。
- ・ 既参加青年以外にも参加しやすく、開かれた組織
- ・ 運営は会員が行っており、自分もいずれ運営業務に携わることがあると思う。運営業務が日常生活に負担がないようになって欲しい。
- ・ 地方 IYEO は具体的活動の実態があると感じるが、東京はあまり活動が活発でないように思えるため、より活発に活動していれば良いと思う。
- ・ 内輪向けの組織と言うイメージが強いので、もっと広く、社会へ社会へと発信する必要があるとっております。実際に、IYEO の活動を通して、何か世の中の課題を解決する取り組みや活動をもっとしていければと思います。
- ・ コロナにより実際に会うことができず IYEO での活動もあまり参加しているという実感が無いのでまずは少人数からでも対面してコミュニケーションをとりメンバーとの仲を深めることが組織として必要だと思ふ。
- ・ 他の事業ではなく、より東南アジア青年の船事業の既参加青年に対して情報を提供する組織。
- ・ 海外赴任中なので、海外からも支援できる仕組みがあればと思っています。
- ・ 基金のような独自財源を持ち、実業家等とのネットワークを有し、所属/参加すること自体がステータスとなるような組織。Ex)xxx 財団の奨学生、xxx 大学卒業生の OBOG グループ xxx 会、といったイメージ。
- ・ 近年参加された方々が IYEO 会員になるだけではなく、実働できるメンバーとしての活躍の場が増えるというと思う。
- ・ モチベーションにばらつきはあるものの、一つ決めたことに対しては個々人が協力できる範囲で協力し合える組織
- ・ 私自身は、各地で定期的に行われている方全国大会やブロック大会には、参加したことがない。キャリア形成や社会貢献などの分野で、個々に活動している参加青年たちのゆるやかなつながりを、資金的に、また技術面や経営的な観点から、サポートする組織であれば良いと思う。
- ・ 様々な世代がバランスよく参加し、パンデミック前のように実際に顔を合わせて活動できる機会が増えたら嬉しいです。
- ・ 現時点では特に思いつきません。
- ・ 都道府県により活動内容等にバラつきがあるため、そうした点について今後の改善が望まれるように思う。
- ・ グローバルなキャリア開発
- ・ 参加青年が今何をしているか、共有してほしい。同業種、同年齢、同地域と恐らく自分が思っているより身近に既参加青年がいるのではないかと思う。事業に参加したときは、変化した価値観もあると思うので、親交を続けることももちろん大事だが、新たな出会いの機会がほしい。既参加青年が主体になってイベントを開催していたりもするが、テーマが自分に合っていないと感じたり、時間に都合のつかない人がいたりすると思うので、新しいプラットフォームあればより活発な組織になると思う。
- ・ 組織が大きすぎるので、テーマ毎での分科会のようなものがあるといいです。
- ・ 多世代が対等な関係で交流できる社会
- ・ 参加意欲を注ぐプログラムを実施する組織
- ・ 内閣府事業の既参加青年以外にも IYEO 会員になるネットワークや参加回路の構築。コロナ禍で事業が中止もしくはオンラインとなったことで、地方 IYEO の若手人材が不足している。
- ・ 地方の IYEO としても全国大会や船事業の受け入れといった大きな活動だけではなく、地元での日常的な活動の実施によりネットワークを構築していく必要がある。自主活動の支援金がより応募しやすくなるような工夫があると嬉しい。
- ・ 会員の負担や役職がない組織(以前所属していたある県の会での話ですが、会報誌の作成や発送、経理

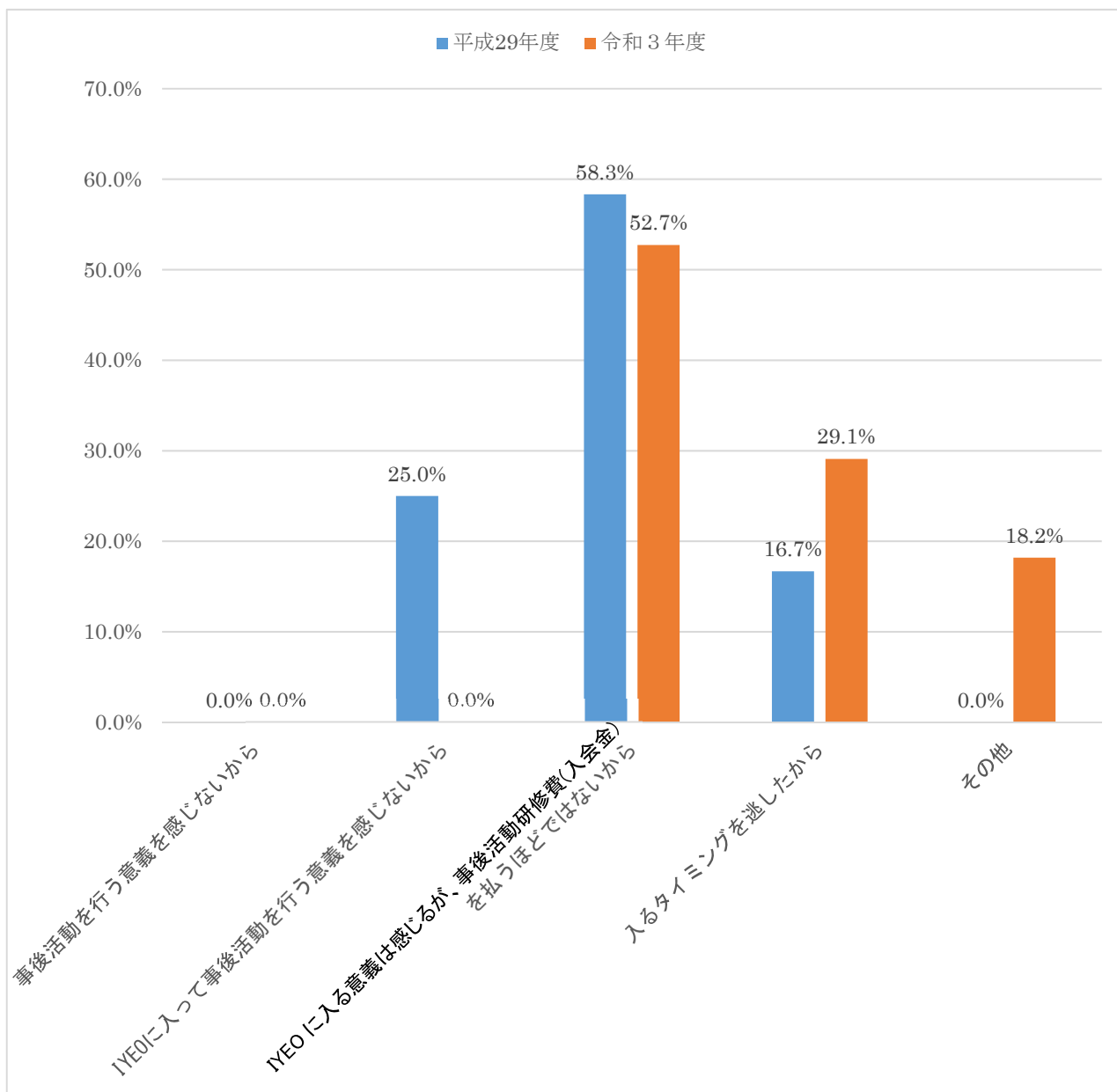
等、負担感を感じる方がいらっしやった認識です)

- ・ IYEO として、既参加青年に対して、交流を持てる場をブロックに任せるだけでなく、組織としてやりたいだ飲んで食べての交流ではなくてマッチングなどしていただけると、もっと活動でコラボなどできると思う。欲を言えば、海外参加青年ともしたいです。

問 6-2. 「いいえ」を選んだ方は、なぜですか。

平成29年度	事後活動を行う意義を感じないから	IYEOに入って事後活動を行う意義を感じないから	IYEOに入る意義は感じるが、事後活動研修費(入会金)を払うほどではないから	入るタイミングを逃したから	その他	合計
国際青年育成交流事業	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
日本・中国青年親善交流事業	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
日本・韓国青年親善交流事業	0(名)	1(名)	1(名)	0(名)	0(名)	2(名)
	0%	50%	50%	0%	0%	100%
地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
「東南アジア青年の船」事業	0(名)	1(名)	2(名)	0(名)	0(名)	3(名)
	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100%
「世界青年の船」事業	0(名)	1(名)	4(名)	2(名)	0(名)	7(名)
	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	100%
合計	0(名)	3(名)	7(名)	2(名)	0(名)	12(名)
	0.0%	25.0%	58.3%	16.7%	0.0%	100%

令和3年度	事後活動を行う意義を感じないから	IYEOに入って事後活動を行う意義を感じないから	IYEOに入る意義は感じるが、事後活動研修費(入会金)を払うほどではないから	入るタイミングを逃したから	その他	合計
国際社会青年育成事業 (オンライン)	0(名)	0(名)	7(名)	3(名)	3(名)	13(名)
	0.0%	0.0%	53.8%	23.1%	23.1%	100%
日本・中国青年親善交流事業 (オンライン)	0(名)	0(名)	6(名)	4(名)	3(名)	13(名)
	0.0%	0.0%	46.2%	30.8%	23.1%	100%
日本・韓国青年親善交流事業 (オンライン)	0(名)	0(名)	3(名)	1(名)	1(名)	5(名)
	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	100%
「東南アジア青年の船」青年会議 (オンライン)	0(名)	0(名)	2(名)	6(名)	3(名)	11(名)
	0%	0%	18%	55%	27%	100%
「世界青年の船」事業 (オンライン)	0(名)	0(名)	11(名)	2(名)	0(名)	13(名)
	0.0%	0.0%	84.6%	15.4%	0.0%	100%
合計	0(名)	0(名)	29(名)	16(名)	10(名)	55(名)
	0.0%	0.0%	52.7%	29.1%	18.2%	100%



問 6-3. 問 6-2 で「その他」を選んだ方は、具体的に御記入ください。

- ・ 留学などにより時間がないと判断したため。
- ・ 対面開催になってからもう一度事業に参加したいと思ったから
- ・ 入会金が2万円と高く、負担に感じるから。
- ・ 社会人1年目で、勤務先の業務に慣れることを優先したから。業務に慣れ、仕事と生活を両立できる余裕ができたとき、IYEOの活動に従事する準備ができている。機を見て参加を検討する心持ちである。
- ・ 会の説明会に参加した結果、必ずしも IYEO が自分にとって最適な活動の場ではないと判断をしたため。ただし、その説明会で全ての活動を理解できたとは考えていないので、また説明会などがあれば、参加をしたいと考えています。
- ・ IYEOの活動が、具体的にどのくらいの頻度で、どこで何をしているのかが分からなかったため。
- ・ 京都府の IYEO はあまり盛んでないと聞いたからです
- ・ 団体の雰囲気が自分の性格と合わなさそうと感じたため
- ・ IYEOの活動の方針と自身でやりたいことが必ずしも合致しないため
- ・ 地域の会に参加してみたが、雰囲気があまり自分に合わないと感じてしまったから。